



令和6年度

# 文化部活動改革（部活動の地域に向けた実証事業等）

地域文化クラブ活動への移行に向けた実証事業

## 山形県小国町

自治体名：山形県 小国町

担当課名：教育振興課

電話番号：0238-62-2141

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

|                        |                        |
|------------------------|------------------------|
| 面積                     | 737.56 km <sup>2</sup> |
| 人口                     | 6,627人                 |
| 公立中学校数                 | 2校                     |
| 公立中学校生徒数               | 165人                   |
| 部活動数                   | 2部活                    |
| 市区町村の協議会・検討会議等の設置状況    | 設置済                    |
| 市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況 | 未策定                    |

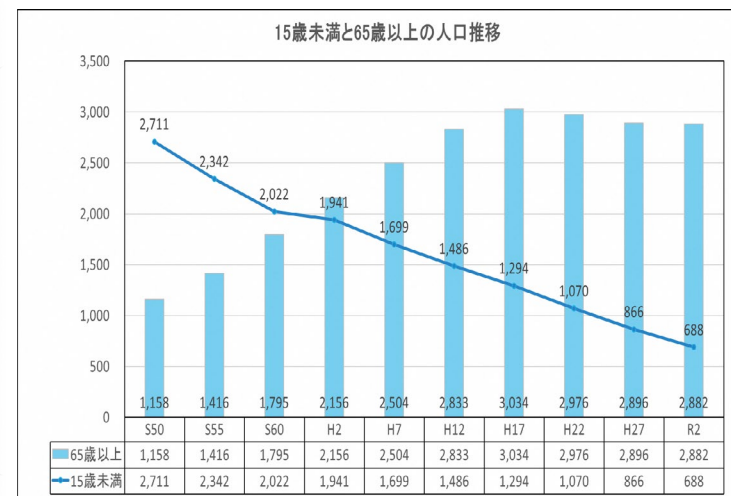
## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

町内中学校には2つの文化部がある。いずれも基幹中学校である小国中学校にあり、令和5年度から吹奏楽部地域移行の実証事業に取り組んでいる。

小国町は令和4年度からスポーツクラブ地域移行の実証事業に取り組んでおり『NPO法人おぐにスポーツクラブYui』を受け皿とする組織（運営主体）があったこと、地元の公立高校の放課後活動（吹奏楽）の受け入れ実績もあったことから、音楽関係団体の理解と協力を得て指導者を確保し、連携しながら行っている。

これまでの取り組みから、地域移行を進めるためには『人材』・『経費負担』・『移動手段』の3つが大きな課題として見えてきた。1つ目の『人材』は、高齢化や人口減少が急進するなか、クラブ活動を支える指導者をどの様に確保して行くのか。2つ目の『経費負担』は、クラブ活動経費を行政がどこまで負担すべきなのか。3つ目の『移動手段』は、子ども達の移動手段をどの様に確保すべきかと言った点があげられる。

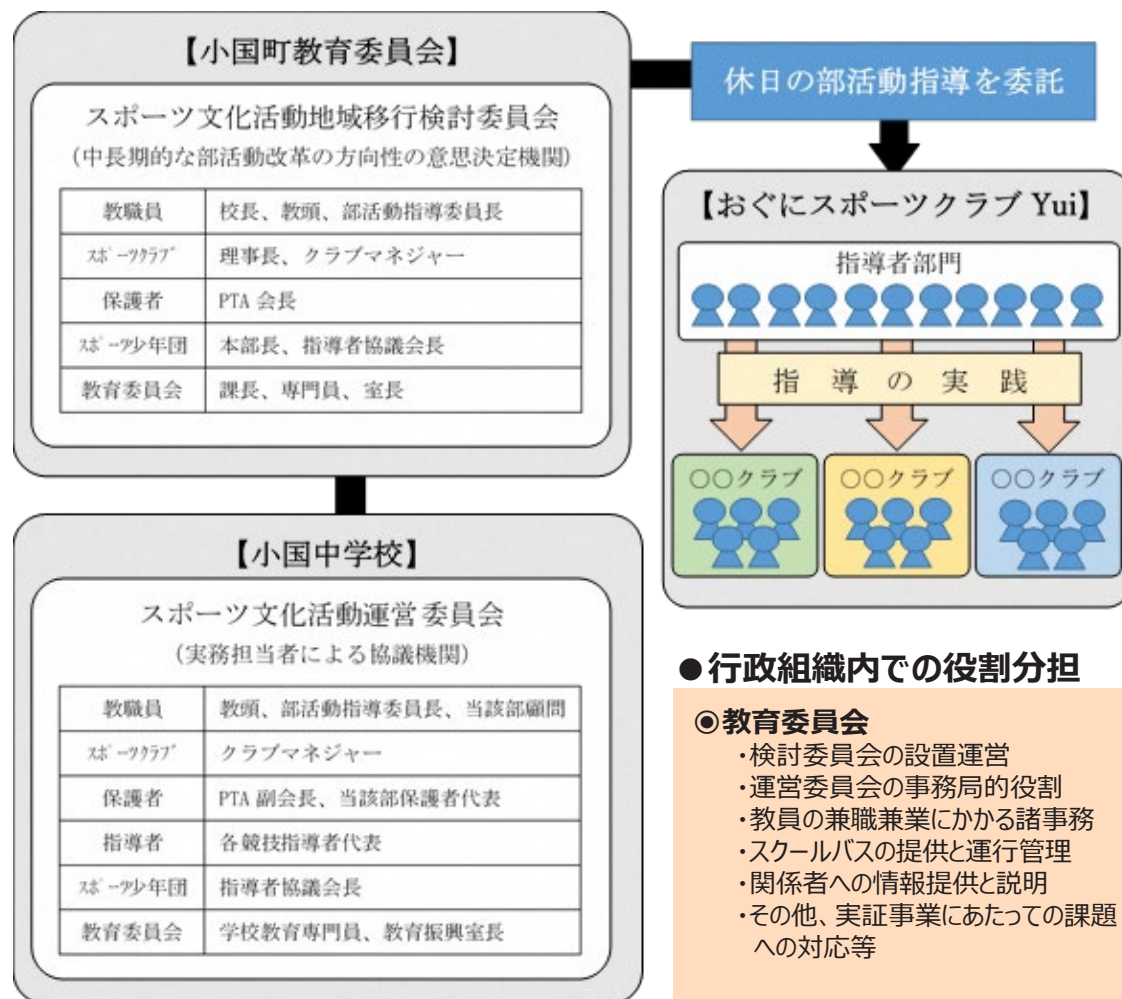
特に『移動手段』では、当町は地理的に車移動に頼らざるを得ない環境にあり、町内移動はもとより、近隣市町との広域連携を進めるうえでも、スクールバスの活用について議論・整理をする必要がある。



## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



### 年間の事業スケジュール

- |         |                                                                                                                                                    |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 令和6年6月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回スポーツ文化活動運営委員会</li> <li>・第1回スポーツ文化活動地域移行検討委員会</li> </ul>                                                 |
| 令和6年7月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動の地域移行にかかる説明（保護者、競技団体、スポ少等関係者対象）</li> <li>・おぐにスポーツクラブYuiと運動部活動指導業務委託の契約締結</li> <li>・実証事業の実践開始</li> </ul> |
| 令和6年11月 | ・第2回スポーツ文化活動運営委員会                                                                                                                                  |
| 令和6年12月 | ・第2回スポーツ文化活動地域移行検討委員会                                                                                                                              |
| 令和7年1月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査の実施（生徒、保護者、指導者、教員対象）</li> <li>・実証事業の終了（委託契約終了）</li> </ul>                                           |
| 令和7年3月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回スポーツ文化活動運営委員会</li> <li>・第3回スポーツ文化活動地域移行検討委員会</li> </ul>                                                 |

## 2.実証内容と成果



### 地域文化クラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

|          |                                              |             |             |
|----------|----------------------------------------------|-------------|-------------|
| 中学校数     | 2 校                                          | 実施した地域クラブ総数 | 1 クラブ       |
| ケース別クラブ数 | A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）              |             | 1 クラブ（1 部活） |
|          | B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等） |             | 0 クラブ       |
| 全体の指導者数  | 9 人                                          | 全体の運営スタッフ数  | 10 人        |

#### ②各クラブに関すること

| クラブ名   | 運営団体種別       | 種目<br>※新規のものは末尾に（新）を付ける | 実施回数           | 実施時間帯                | 参加者<br>（学年別）                 | 実施期間      | 活動場所  | 指導者数 | 運営スタッフ数<br>（他クラブと兼務） | 会費 | 大会参加方法                  |
|--------|--------------|-------------------------|----------------|----------------------|------------------------------|-----------|-------|------|----------------------|----|-------------------------|
| 吹奏楽クラブ | 総合型地域スポーツクラブ | 吹奏楽                     | 月1回～2回<br>計12回 | 9:00～<br>12:00<br>ほか | 11人（1年）<br>3人（2年）<br>10人（3年） | 7月～<br>2月 | 小国中学校 | 9 人  | 1 人                  | なし | 中体連関連<br>：部活動<br>その他：なし |

#### ③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 主体となって開催することはなかったが、町民主催のイベントにおいて演奏を行った。

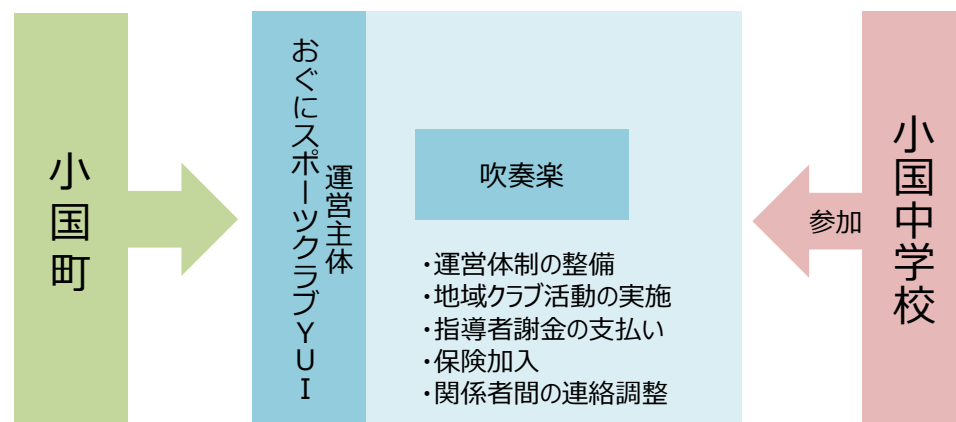
## 2.実証内容と成果

### 主な取組例

#### ●おぐにスポーツクラブYui 活動概要

|                 |                                                 |
|-----------------|-------------------------------------------------|
| 地域クラブ活動で実施した種目  | 吹奏楽                                             |
| 運営団体名           | おぐにスポーツクラブYui                                   |
| 期間と日数           | 吹奏楽：8月～2月<br>月2回程度 12回                          |
| 指導者の主な属性        | 愛好家                                             |
| 活動場所            | 小国中学校                                           |
| 主な移動手段          | スクールバス                                          |
| 1人あたりの参加会費等（年額） | 令和6年度については、運営団体と検討し、令和7年度より費用負担を求めることとした。       |
| 1人あたりの保険料       | スポーツ安全保険<br>生徒1人あたり：800円/年<br>指導者1人あたり：1,850円/年 |

#### ●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



#### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- コーディネーター 1名  
役割：学校、生徒、指導者、行政との連絡調整等、実施管理等を行う
- チーフ指導者 1名  
役割：顧問やコーディネーターとの連絡調整、計画立案等を行う
- 指導者  
役割：チーフ指導者の指示に従い、指導を実践する

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

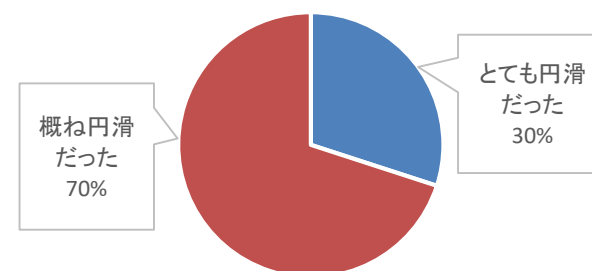
##### 取組事項

- ・学校、保護者、スポーツクラブ、指導者、行政による検討委員会、運営委員会を組織し、関係者間の情報共有や意思統一を図る。
- ・受け皿組織（運営主体）にコーディネーター1名を配置し、管理監督の下、しっかりとした指導組織体制を構築する。

##### 取組の成果

- ・『スポーツ文化活動地域移行検討委員会』を設置し、中長期的な方向性の検討、関係機関の役割分担、行政支援の在り方、実証事業の評価検証を行う体制を整備した。
- ・『スポーツ文化活動運営委員会』を設置し、実証事業にあたってのルールや、事業過程における課題等を検討する体制を整備した。
- ・コーディネーターが主となり、関係者との連携を進め、指導者確保を円滑に行うことができた。

関係者間の連携について



##### コーディネーターの具体的な動きの実績

##### 【コーディネーター】

- ・学校、生徒、指導者、行政との連絡調整
- ・クラブ活動の進捗管理等、その他事業実施にあたっての雑務

##### 今後の課題と対応方針

- ・事務の効率化や負担軽減のため、関係者間での連絡等におけるICTの活用について検討を進める。
- ・指導方法によって演奏が崩れてしまうこともあり、関係者間でも温度差がある。子供達にとって有意義な活動ができる環境について検討する。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

##### 取組事項

・教職員と指導者間の連絡調整を密に行い、指導感や情報の共有をしながら指導の質の保障と量を確保する。

##### 人材バンクの人数

17名

##### 人材バンクの年齢構成

|       |    |
|-------|----|
| 20代   | 6名 |
| 30代   | 4名 |
| 40代   | 3名 |
| 50代   | 2名 |
| 60代以上 | 2名 |

##### 登録者属性

町内で活動する吹奏楽団を人材バンクとして活用。

##### 種目

特に定めていない。

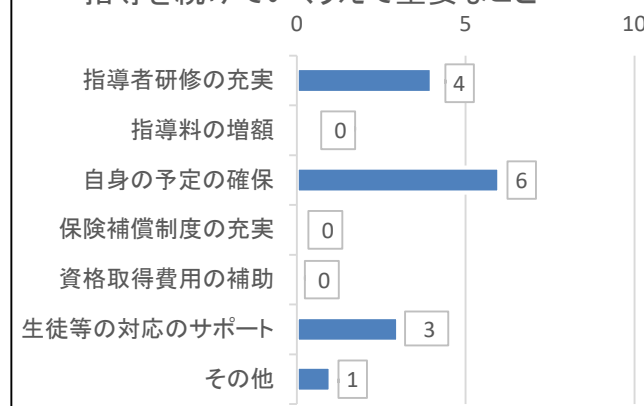
##### 資格有無

資格は無し。

##### 取組の成果

- ・地域で活動する音楽団体（おぐに吹奏楽団）に所属する、指導者として相応しい方を推薦・派遣していただき、質の保障と量を確保することができた。
- ・生徒へのアンケートでは、67%が部活動との指導方針・指導方法の相違は無かったと回答している。一方で違いがあり戸惑う生徒もいたが、概ね顧問と指導者の連携・情報共有により、地域クラブ活動においても部活動同様の活動を行うことができた。
- ・地域の吹奏楽愛好家による楽団であり、団体自体が資質の向上を目的に活動しているものではない。また町内には専門的な知識や技術を持った指導者もおらず、今後は資格を有する指導者の確保が課題である。しかしながら生徒は普段の部活ではできない曲や、地域の大人との演奏など、多様な体験をすることができ、満足した活動ができたと評価をしている。まずは参加する生徒を増やしていきたい。

##### 指導を続けていくうえで重要なこと



## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
**ウ：関係団体・分野との連携強化**  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

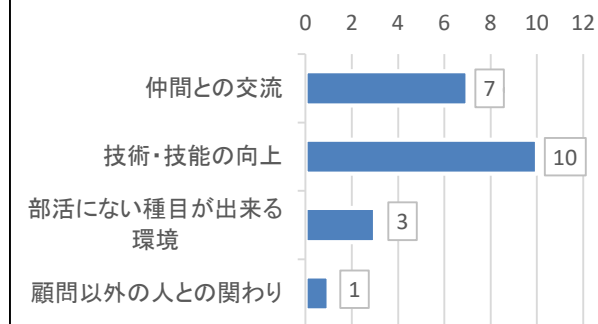
##### 取組事項

・学校、PTA、指導者、行政による検討委員会、運営委員会を組織し、関係者間の情報共有や意思統一を図った。  
 ・スクールバスを運行して、生徒の移動手段の確保を図り、保護者の送迎負担を軽減した。

##### 取組の成果

・アンケートの結果では指導者は関係者との連携には概ね満足という評価であったが、教員からは全く評価しないという厳しい結果であった。吹奏楽の活動は、指導者の影響が大きいことから大会前の指導については、休日の活動であっても区別している。学校（教員）から高く評価され継続的な指導を行ってための活動体制についての検討が更に必要であることがわかった。  
 ・生徒は地域とのつながりの中で得られる体験から多くを学び、成長する姿があった。地域の指導者から教えていただいたことで、生徒は、卒業後もライフスタイルに応じたスポーツ・文化芸術活動への参画を希望している。レベルアップを目指す生徒は、専門的知見を持った指導者のもと、個々の資質や能力をより高める活動ができた。

##### クラブ活動に求めるもの



##### バス等の運行実績

・小国町は、登下校にスクールバスを利用する生徒は部活動に参加するためにもスクールバスを運行している。クラブ活動であっても部活動と同じ対応を行っている。

##### バス等の運航経費・収入

・町費で負担。

##### 今後の課題と対応方針

地域の文化活動団体は高齢化が進んでおり、部活動の地域移行を推進していくうえで選択出来る活動のひろがりには難しいと思われる。文化芸術に親しめる環境づくりは生涯学習を推進していくうえでも重要なポイントであることから、多様な放課後活動を選択できるよう地域理解を得ていく取組が必要である。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

##### 取組事項

・受益者負担の課題等について継続的に議論をするとともに、困窮世帯への支援についても検討を行った。

##### 地域クラブに係る経費

##### ■イニシャルコストの分析

・既存のスポーツクラブを受け皿組織（運営主体）とすることで、実証事業にかかる初期費用について特筆すべき点はない。

##### ■ランニングコストの分析

・事務局人件費（237千円）  
・指導者謝金（138千円）  
・消耗品費（266千円）  
・通信運搬費（14千円）  
・雑役務費（3千円）  
・保険料（34千円）

##### 持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

持続的な運営に必要な受益者負担額の試算を行った。

（検証結果の詳細は次ページ参照）

| 月額ver<br>(申込者全員負担) | 1回ごとver<br>(参加者のみ負担) | 公費負担額     |
|--------------------|----------------------|-----------|
| 2,730円/月           | 2,502円/回             | 237,000円  |
| 896円/月             | 821円/回               | 519,378円  |
| 費用/①/②             | 費用/③                 | 合計-費用-保険料 |

「活動費すべてを受益者負担」

「指導者の謝金を受益者負担」

##### 収支バランス

「1回参加すること」に負担を求めると、1ヶ月あたり5千円になることから受益者負担の額が非常に大きくなるとともに、収益の見込みがつかないことから、運営主体において、持続可能な運営は困難になると思われる。低廉な受益者負担を求めたうえで、少なからず行政の支援が必要であると考えます。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等②

##### 取組の成果

- ・運営主体の収支構造を3つに分けて検証を行い「活動費（保険料）」については、各家庭や指導者自らが負担するべきものとする。また、「事務局運営費」については、生徒へ直接的に支援している経費ではないため、国費や町費等の自主財源を活用する。よって、「活動費」を受益者負担の対象に検証を行なっていくこととする。
- ・受益者負担額の設定においては、「1ヶ月単位」で活動の参加有無に関わらず申込者全員で負担する方法と、「1回参加するごと」に参加者のみで負担する方法の両面で検証した結果、「1回参加するごと」に負担を求めると、1ヶ月あたり5千円になることから受益者負担の額が非常に大きくなるとともに、収益の見込みがつかないことから、運営主体において、持続可能な運営は困難になるとされる。

##### 【全体】

| 項目       | 費用      | 割合  |
|----------|---------|-----|
| 事業費      | 420,378 | 61% |
| 諸謝金      | 138,000 | 20% |
| 会場使用料    | 0       | —   |
| 消耗品費     | 265,658 | —   |
| 印刷製本費    | 0       | —   |
| 交通費      | 0       | —   |
| 雑役務      | 16,720  | —   |
| 事業費（保険料） | 34,250  | 5%  |
| 生徒       | 17,600  | —   |
| 指導者      | 16,650  | —   |
| 事務局運営費   | 237,000 | 34% |
| 人件費      | 237,000 | —   |
| 通信運搬費    | 0       | —   |
| 振込手数料    | 0       | —   |
| 一般管理費    | 0       | —   |
| 消費税相当額   | 0       | —   |
| 合 計      | 691,628 |     |

⇒自己負担

⇒公費負担

|   |        |     |
|---|--------|-----|
| ① | 活動月数   | 7箇月 |
| ② | 申込者数   | 22  |
| ③ | 延べ参加者数 | 168 |

案①「活動費すべてを受益者負担」

⇒

案②「指導者の謝金を受益者負担」

⇒

算出根拠

⇒

| 月額ver<br>(申込者全員負担) | 1回ごとver<br>(参加者のみ負担) | 公費負担額     |
|--------------------|----------------------|-----------|
| 2,730円/月           | 2,502円/回             | 237,000円  |
| 896円/月             | 821円/回               | 519,378円  |
| 費用/①/②             | 費用/③                 | 合計・費用・保険料 |

##### 今後の課題と対応方針

活動費に絞り参加者に負担を求める場合であっても、一定数の参加がなければ賄えないことになり、持続の可能性は難しい。低廉な受益者負担を求めたうえで、少なからず行政の支援が必要であるため、持続的に活動することを前提とした仕組みを構築する。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組



### 取組内容

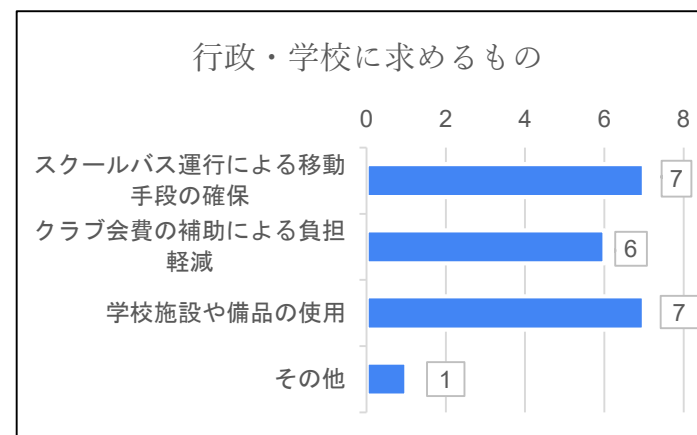
#### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

##### 取組事項

- ・引き続き学校施設を活用することとし、社会開放のケースに準ずる形で活動場所を確保する。
- ・鍵の管理や冷暖房の利用、施設・設備の安全な活用についてルールを見直し、教育委員会と学校、指導者が共有する。

##### 取組の成果

- ・学校施設や学校が保有する楽器等を使用することにより、部活動同様に充実した環境のもとでクラブ活動を行うことができた。
- ・学校施設のカギの受け渡しを、運営主体がしっかり管理することにより、トラブルなく円滑に行うことができた。



##### 今後の課題と対応方針

- ・吹奏楽は楽器の移動が難しく、また保護者から学校施設や備品の使用を求める声があるため、引き続き使用できる連携体制を維持する。
- ・学校が保有する用具等が消耗・劣化した場合の補充経費・負担区分について、議論検討を進める。

## 2.実証内容と成果①



### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

##### 【人材について】

地域クラブ活動を支える指導者の確保は、音楽団体に所属する指導者を推薦・派遣いただき、量を確保して実施した。

##### 【経費負担について】

文化庁委託事業費千円に、クラブ活動運営費相当分として町単独費133千円を上乗せし、各家庭の負担軽減を図り実施した。

##### 【移動手段について】

実証事業であることを踏まえ、生徒の移動手段として試験的にスクールバスを運行し、保護者の送迎負担の軽減を図り実施した。

#### ●成果の評価

##### 【人材について】

音楽団体の活動が充実していることから、指導者の量を確保して実施することができたことは評価できる。

##### 【経費負担について】

クラブ活動運営費相当分を町単独費で上乗せし、各家庭の負担を出来る限り減らしたことにより、部員全てが地域クラブ活動に参加したことは評価できる。

##### 【移動手段について】

スクールバスを運行したことにより、保護者の送迎負担を軽減できたことは評価できる。

#### ●今後に向けて

##### 【人材について】

指導者の質が課題となっている。生徒が望む活動ができる環境を作るためには、指導者についても広域連携体制の構築を進める必要がある。

##### 【経費負担について】

行政負担を最小限に抑え、受益者負担の原則に基づいたあるべき姿を見据えた地域クラブ活動となるよう、議論検討を進める。

##### 【移動手段について】

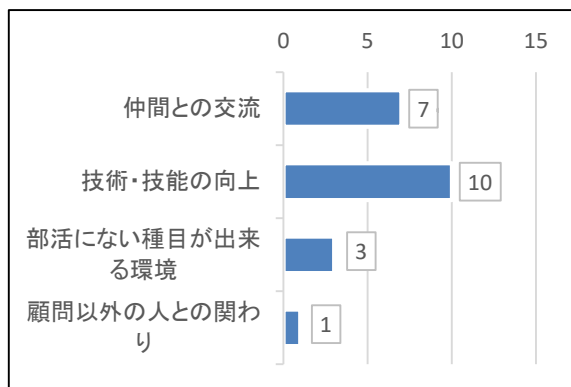
地域クラブ活動におけるスクールバス運行について、保護者の強い要望も踏まえ議論検討を進める。

## 2.実証内容と成果②

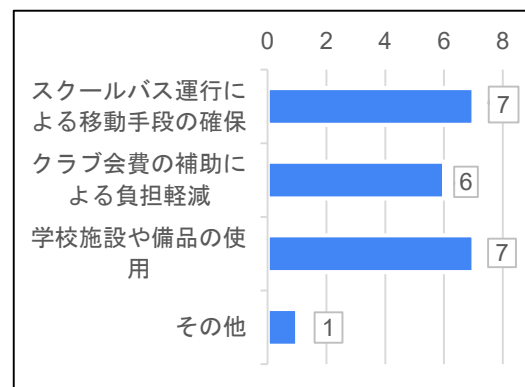
### アンケート結果・参加者の声

#### ●アンケート結果

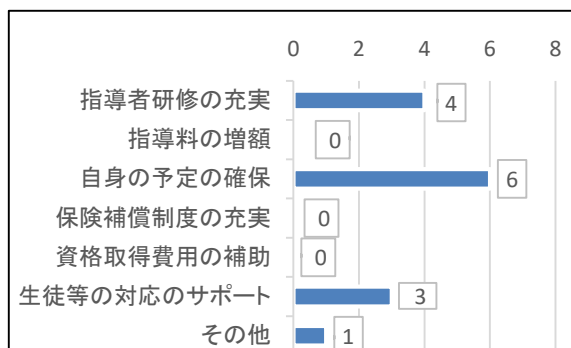
Q. クラブ活動に求めるもの（生徒）



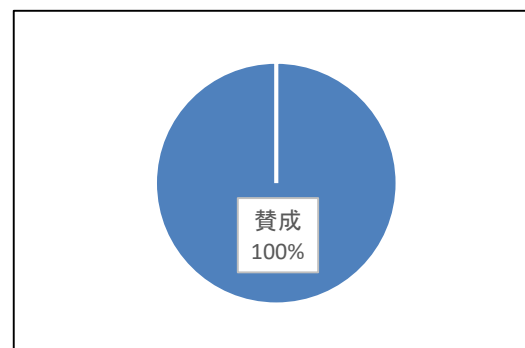
Q.行政・学校に求めるもの（保護者）



Q.指導を続けていくうえで重要なこと（指導者）



Q.平日のクラブ活動移行の賛否について（教員）



#### ●参加者の声

##### 生徒

- ・普段の部活ではできない曲を演奏したり、大人の方たちと一緒に演奏することができて満足でした。
- ・アンサンブルコンテストの編成（特に3人）で合奏したい。好きな曲で合奏してみたいです。

##### 保護者

- ・幼年期から大人まで繋がる活動を広げてほしいです。
- ・地域の方に指導していただき、感謝しています。クラブ活動にかかる経費等について、保護者総会の場合などで共有できればと思います。

##### 指導者

- ・大会前提の指導は不可能。楽器修理の経費を検討必要。
- ・継続可能なクラブにするためのリソースの確保が必要だと感じます。クラブ運営指導を生業とできる会社の設立やクラブ活動へ参与を基本とした協力隊の受け入れ等、仕事として出来るようになると人材のリソースは確保できるでしょうか。

## 2.実証内容と成果④

### 参考資料（活動写真）



【クラリネット指導】



【楽譜の読みあわせ】



【トランペット指導】

## 2.実証内容と成果



### 地域文化クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



#### ステークホルダー

学校、保護者、クラブ、スポーツ少年団、行政関係者、コーディネーター

#### 経過

運動部活動の地域移行実証事業を開始するにあたり、令和4年度より検討委員会、運営委員会を設置し、中長期的な方向性の検討、関係機関の役割分担、行政支援の在り方、実証事業にあたってのルールや、事業過程における課題等を検討と評価検証を行うことを確認した。令和5年度からは文化部活動の関係者も含めた組織とし、事業への理解を得て実証事業に取り組んだ。

#### 実施内容

町内基幹中学校の文化部（吹奏楽部活動）において月2回の休日の部活動を取りやめ、地域クラブ活動へ参加する試験的な取組を開始した。

#### 実施にあたって生じた課題

吹奏楽の活動は、指導者の影響が大きいことから大会前の指導については、休日の活動であっても区別している。継続的な指導を行っていくための活動体制について、指導者、学校側との役割分担について検討が必要である。

また、文化活動がひろがりにより多様な放課後活動を選択できるための環境づくりができるよう、地域の理解を得ていく取り組みが必要である。

#### 今後の展開

令和7年度も継続して基幹中学校において、休日の地域クラブ活動を実施する。また、持続可能な地域クラブ運営とするために、会費負担を開始する。活動の継続と文化活動の選択肢がひろがるよう、学校側の意向、指導者確保の見通し等を協議していく。

### 3.今後の方向性

#### 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

|       | 2025年度<br>(R7年度)               | 2026年度<br>(R8年度) | 目指す姿                                                                                                |
|-------|--------------------------------|------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 町     | 地域移行検討委員会・運営委員会の設置及び会議の開催（年3回） |                  | ○ 少子化のなかでも、持続的にスポーツ・文化活動ができる。<br>○ 学校環境を整備し、子どもたちの選択肢を地域全体で提供。<br>○ 学校芸術の振興を図る。<br>○ 学校の働き方改革を推進する。 |
|       | 新たな課題への対応・支援策の検討               |                  |                                                                                                     |
|       | 新たな支援策の実施                      |                  |                                                                                                     |
|       |                                |                  |                                                                                                     |
| 学校    | 新たな課題への対応                      |                  |                                                                                                     |
|       | 学校施設の開放                        |                  |                                                                                                     |
|       | 段階的に平日の部活動を制限                  |                  |                                                                                                     |
| 競技団体等 | 地域クラブ活動への指導者の派遣                |                  |                                                                                                     |
|       | 指導者の確保・育成・資質向上への取り組み           |                  |                                                                                                     |
|       |                                |                  |                                                                                                     |
| 運営主体  | 地域クラブ活動の運営                     |                  |                                                                                                     |